



いっしょにまちづくり



地域の「宝」に触れた鷺子ツアー

7月11日、市まちづくりネットワーク主催の「祭り直前の鷺子を巡るツアー」に参加しました。その翌週5年ぶりに、「鷺子山上神社夏例大祭」が開催されるということで、神社の歴史と祇園祭について、説明を聞きました。大鳥居の中央が、茨城と栃木の県境という珍しい神社で、古来より「霊峰」といわれ、清清しく心地のよいところでした。

その後、地区の屋台を見せてもらい、彫刻などの細かな特徴に触れるだけでなく、祭りの臨場感までイメージすることができました。最後は、花輪組の方々の軽快な「鷺子囃子」に感激しつつ、参加者全員で、囃子太鼓を体験しました。

地元の歴史や文化財を、地元の方々に案内してもらったこのツアーで、「宝は足下にある」ことを実感しています。今後もネットワークのみなさんと、「宝」をみつけるツアーを企画・実施していくのが楽しみです。



ウダーベ音楽祭2015実行委員
木村由紀江さん

今月の耳より情報

No.5



テーマ

～星空観察～



一般に星が良く見える条件は、空気が澄み、周囲に照明がなく夜空が暗い状態といわれていて、市内は星空の観察に適した環境がそろっています。

なかでも、花立自然公園内には天文台「美スター」があり、望遠鏡の設計から組立、管理など、アマチュア天文家が担当する全国でも珍しい天文台があります。土曜日は一般観望会を開くなど、無料で観測ができます。また、山方地域のパークアルカディア内には、昼間でも星の観測ができるプラネタリウム館があります。（商工観光課）

皆さんは、子どもの頃ふと夜空を見上げた時に流れ星を見て、テンションが上がったり、願い事を言うのを忘れたりという経験はありませんか。

流れ星は、宇宙にある直径1mmから数cmのちりの粒が、地球の大気に飛び込んできて激しく衝突し、高温になって気化した成分が光を放つ現象のことです。

毎年決まった時期に、決まった場所から降り注いでくる流星の集団が流星群です。「ペルセウス座流星群（8月13日頃）」「ふたご座流星群（12月15日頃）」「しぶんぎ座流星群（1月4日頃）」など、三大流星群の観察にチャレンジしてみましょう。（Rさん・男性）

私は夏がくると、御前山青少年旅行村で見た星空を思い出します。

ケビンの外で一人たたずんでいた私は、ふと顔を上げた途端、声を失いました。星たちが私を包み込み、そこはまさに星空のプール。

思えば、ここは伊勢畑。香川敬三ゆかりの地です。香川敬三は野口の水戸藩郷校である時雍館や藤田東湖に教えを受け、また岩倉具視とともに国事に奔走した人物で、新撰組の近藤勇を捕えたといわれます。

偉人も仰ぎ見たであろう雄大な星空。私もいつの日か大望を遂げたいと思わずにはいられない今日この頃です。（Yさん・男性）

善意をありがとう

敬称略

<市役所へ>



常陽銀行（感謝プラン80）
広報機材、テント等の寄付

<市内各団体へ>



大相撲常陸大宮場所実行委員会
3,011,963円